

【基本施策 V-5-(1)】民間活力を活かした魅力ある広域拠点の形成

主な取組① 川崎駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 川崎駅周辺地区においては、東口地区では商業・業務などを中心に、西口地区では都市型住宅や商業、文化施設などを中心とした都市機能が集積しています。今後も、羽田空港再拡張・国際化に対応した都市機能の再編整備の適切な誘導や、広域的な集客機能などを備えた活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進する必要があります。
- 2010年度末には東口駅前広場再編整備が完了し、駅周辺のバリアフリー化等が図られますが、広域拠点として回遊性・利便性の一層の向上や放置自転車対策など、都市機能の強化を図る必要があります。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

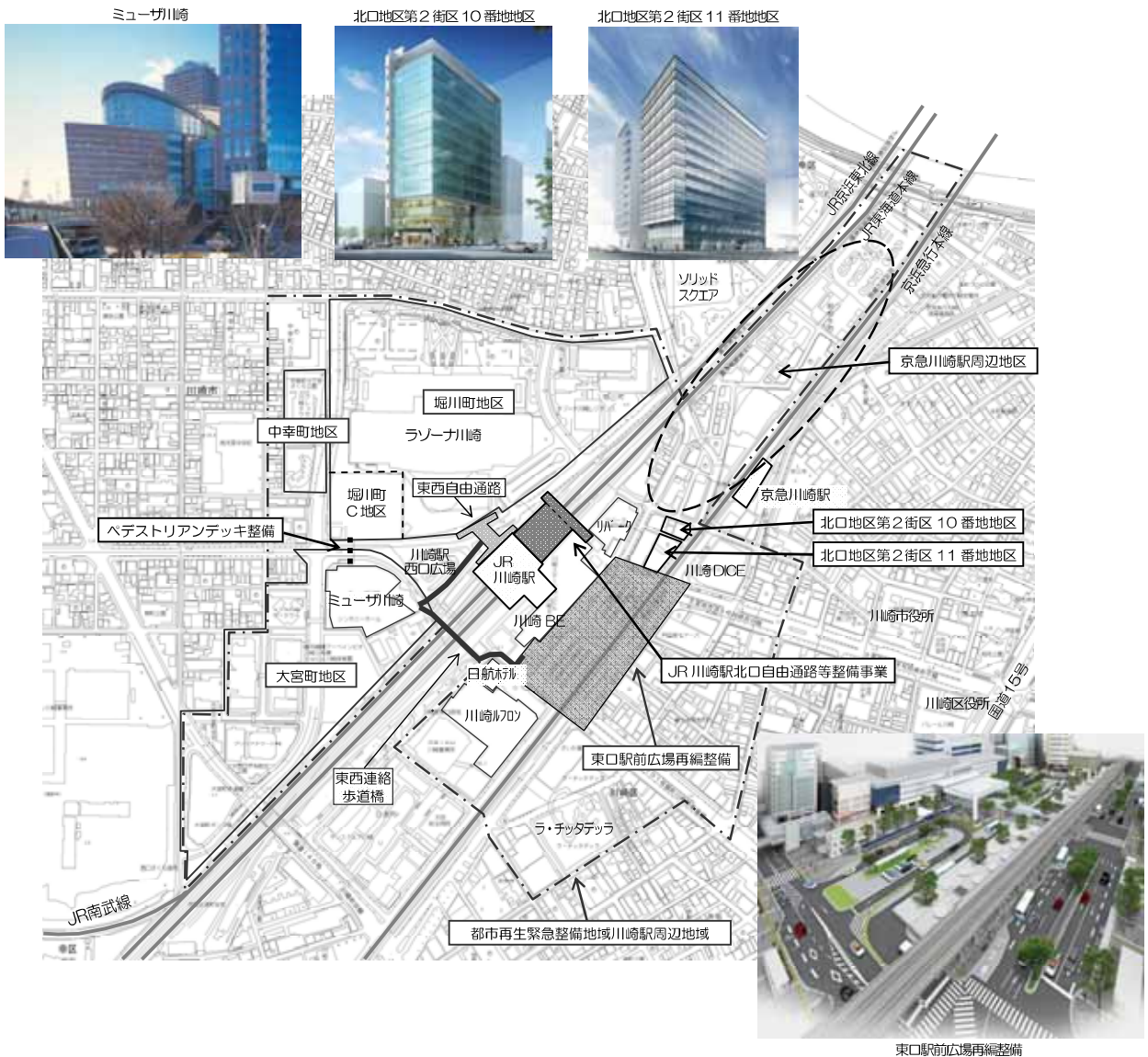
- 北口地区第2街区の民間再開発等事業を促進し、あわせて、安全で快適な歩行空間の整備を推進するなど、川崎駅周辺総合整備計画に基づく総合的な取組により、川崎市の玄関口にふさわしい活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進します。
- 東西自由通路の混雑緩和と駅東西の回遊性・利便性の一層の向上に向けて、新たな改札口とあわせた北口自由通路の整備を推進します。
- 西口地区の歩行者の回遊性・利便性の向上を図るため、ミュージア川崎と堀川町C地区を結ぶペDESTリアンデッキの整備を推進します。
- 京急川崎駅周辺地区については、羽田空港アクセス等の優れた立地特性を活かし、民間活力による国際化に対応した都市機能の再編整備の適切な誘導・支援を行い、新たな玄関口として魅力あるまちづくりを進めます。
- 川崎駅東口周辺地区の自転車対策については、実施計画に基づき、安全で快適な歩行空間の確保と自転車の通行環境の確保や適正な自転車利用の誘導、公有地等を活用した効率的かつ効果的な駐輪場の整備など総合的な自転車対策を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
川崎駅周辺総合整備事業 駅東西の回遊性及び利便性の向上と適切な土地利用の誘導など総合的な取組により、本市の広域拠点の形成を推進します。	●「川崎駅周辺総合整備計画」に基づく取組の推進 ・東口駅前広場再編整備推進 ・東西連絡歩道橋等整備推進	●「川崎駅周辺総合整備計画」に基づく取組の推進 ・北口地区第2街区10番地地区、11番地地区整備 ・北口地区第2街区歩行空間整備(2012年度完成) ●「川崎駅周辺総合整備計画」の改訂	事業推進
JR川崎駅北口自由通路等整備事業 JR川崎駅北口自由通路等の整備により、駅へのアクセスと駅東西の回遊性などの向上を図ります。	●概略設計 ●関係機関との協議・調整	●新たな改札口とあわせた北口自由通路の詳細設計・整備着手(2012年度)	事業推進
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 民間活力を活かした商業、業務、文化機能や都市型住宅機能の整備を進め、魅力と活力にあふれた本市の広域拠点の形成を推進します。	●ミュージア川崎と堀川町C地区連結ペDESTリアンデッキ予備設計 ●民間開発の誘導	●ミュージア川崎と堀川町C地区連結ペDESTリアンデッキ設計・整備推進 ●民間開発の誘導	事業推進

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
京急川崎駅周辺地区整備事業 民間活力を活かした適切な都市機能の再編整備を進め、本市の広域拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●整備構想の策定 ●民間開発の誘導・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●整備方針の検討・策定 ●民間開発の誘導・支援 	事業推進
放置自転車対策事業(再掲) 放置自転車の解消に向けた駐輪場整備や放置自転車区域の指定など、放置自転車防止対策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅東口周辺の駐輪場の整備推進 ●放置禁止区域の指定の推進 ●川崎駅東口周辺地区総合自転車対策実施計画の策定に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・宮本町地内(いさご車庫)駐輪場の整備推進 ・新川通り駐輪場代替施設の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎駅東口周辺地区総合自転車対策実施計画に基づく取組の推進 <ol style="list-style-type: none"> ①安全で快適な歩行者と自転車の通行環境の構築 ②適正な自転車利用の誘導 ③効率的かつ効果的な駐輪場の整備活用 路上駐輪場代替施設 <ul style="list-style-type: none"> ・宮本町地内(いさご車庫)駐輪場の供用開始(2011年度) ・本町地内(旧水道営業所用地)駐輪場の供用開始(2013年度) など 	事業推進

川崎駅周辺地区の整備図



主な取組② 小杉駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 小杉駅周辺地区においては、大規模工場跡地等を中心に再開発事業等が進められ、商業、業務、研究開発、文化交流、都市型住宅等の都市機能が集積するとともに、2010年3月にはJR横須賀線武蔵小杉駅が開業し、交通結節機能の強化が図られています。また、まちづくりの進展にあわせ、「NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメント」が設立され、地域とともにイベント活動やコミュニティの構築に向けた取組が進められています。
- 今後は、高齢化が進化した人口減少社会を見据え、誰もが便利に公共サービスを受けられるよう、さまざまな都市機能を駅周辺に効率的に集約・整備するとともに、駅へのアクセス性を高める取組などを進め、利便性の高い都市生活環境を備えた活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進する必要があります。

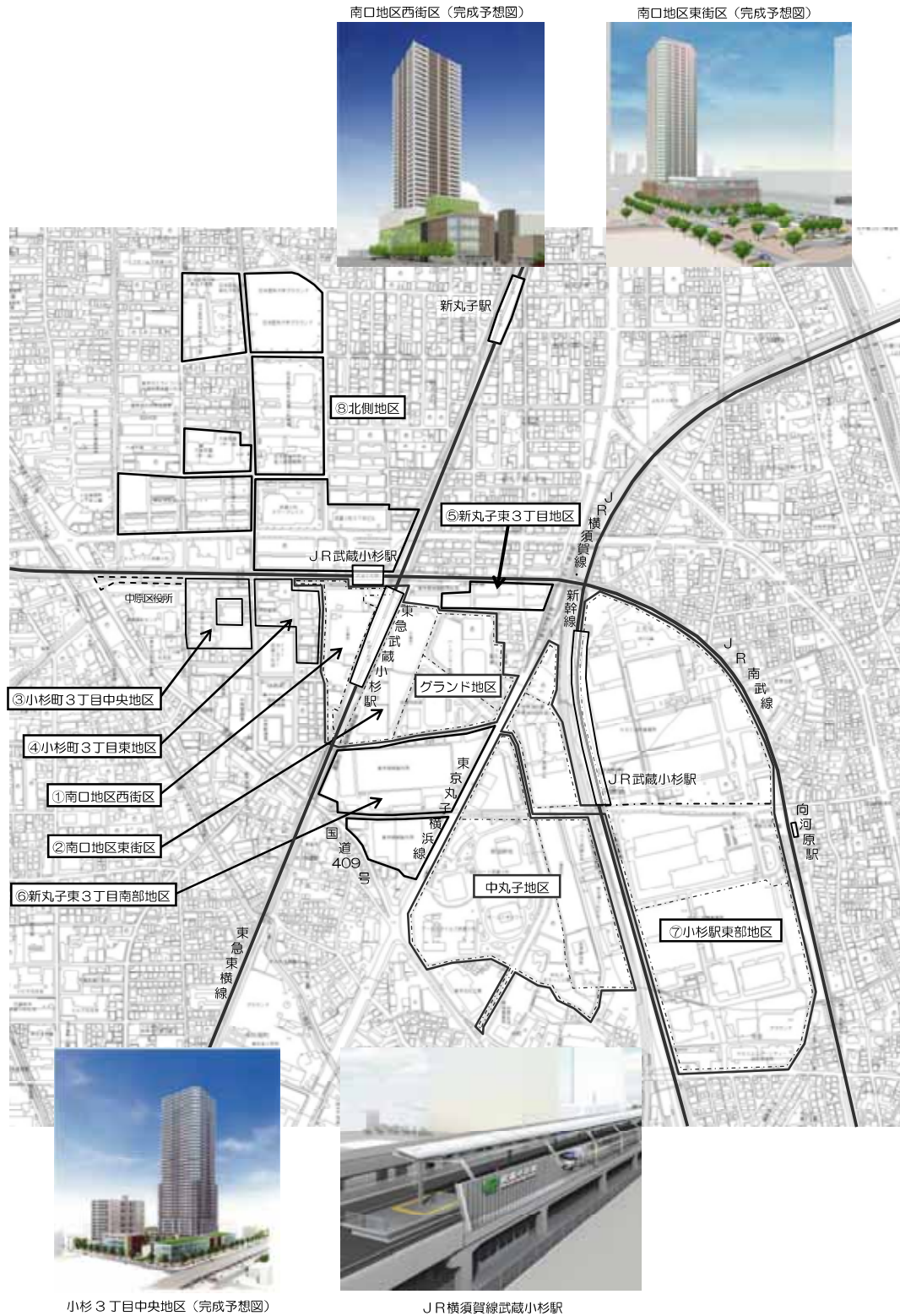
■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 南口周辺地区においては、民間活力を活かした市街地再開発事業等により、駅周辺に、新中原図書館や保育所などの公共・公益施設をはじめ、商業、業務、都市型住宅といった、さまざまな都市機能を効率的に再配置・整備を行い、駅を中心とした利便性の高いコンパクトなまちづくりを推進するとともに、NPO法人によるエリアマネジメント活動等の主体的な取組を支援し、活力と魅力にあふれた広域拠点の形成を進めます。
- 北側地区においても、都市計画マスタープラン小杉駅周辺まちづくり推進地域構想に基づき、民間活力を活かしたまちづくりを推進し、医療・文教・商業・業務・都市型住宅等の新たな都市機能の誘導・支援を行います。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
小杉駅周辺地区再開発等事業 民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅など都市機能の集積を推進し、本市の新たな玄関口にふさわしい都市拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●整備推進地区 <ul style="list-style-type: none"> ①南口地区西街区：整備推進 ②南口地区東街区：権利変換認可、本体工事着手 ③小杉町3丁目中央地区：権利変換認可、本体工事着手 ④小杉町3丁目東地区：準備組合支援 ⑤新丸子東3丁目地区：協議調整、整備推進 ●新規地区：民間開発の誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ●整備推進地区 <ul style="list-style-type: none"> ①整備推進、完了(2013年度) 新中原図書館開館(2012年度) ②整備推進 ③整備推進 ④都市計画、組合設立、権利変換 ⑤整備推進 ⑥新丸子東3丁目南部地区：都市計画決定、工事着手 ⑦小杉駅東部地区：民間開発の誘導・支援 ⑧北側地区：民間開発の誘導・支援 	事業推進

小杉駅周辺地区の整備図



主な取組③ 新百合ヶ丘駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 新百合ヶ丘駅周辺地区においては、商業・業務等の都市機能が集積するとともに、万福寺土地区画整理事業などにより、駅周辺では自然環境と調和した良好な住宅地が形成されています。また、アートセンターや昭和音楽大学が整備され、新百合 21 ホールや麻生市民館などの周辺施設と連携し、「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）」や「KAWASAKI しんゆり映画祭」などの市民が主体となった活動も一層盛り上がり、個性と魅力にあふれた広域拠点の形成が進められています。
- こうした駅周辺のまちづくりの進展とともに、尻手黒川線（Ⅲ期）や世田谷町田線などの幹線道路の整備による自動車交通の流れの変化などを踏まえ、より安全で快適なまちづくりに向けた取組が必要となっています。

■計画期間(2011～2013 年度)の取組

- 駅周辺においては、尻手黒川線（Ⅲ期）の開通などによる自動車交通の流れの変化を把握するための実態調査・検討を行い、地区交通環境の改善に向けた取組を推進します。
- 尻手黒川線や世田谷町田線などの主要な幹線道路については、早期効果発現に向けた整備を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013 年度)の具体的な取組	2014 年度以降
新百合ヶ丘駅周辺交通環境対策事業 <small>駅周辺の交通環境に関する課題に適切に対応し、魅力ある広域拠点の形成を推進します。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●北口エレベーターの整備推進 ●区画街路9号線改良に向けた取組の推進 ●地区交通環境調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区交通環境に関する調査などの実施 ●調査に基づく整備メニューの検討・更新 	事業推進
街路整備事業（再掲） <small>都市活動を支える都市基盤としての都市計画道路の整備を推進します。</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路整備の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・尻手黒川線（Ⅲ期）（2010 年度） ②整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・尻手黒川線（Ⅳ期） ・世田谷町田線（万福寺、片平、上麻生） 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画道路整備の推進 ①整備完了 <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷町田線（万福寺）（2012 年度） ②整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・尻手黒川線（Ⅳ期） ・世田谷町田線（片平、上麻生） 	整備推進

【基本施策 V-5-(2)】個性ある利便性の高い地域生活拠点の整備

主な取組① 新川崎・鹿島田駅周辺地区の整備

■現状と課題

- 新川崎駅周辺地区においては、都市型住宅、業務、研究開発等の都市機能の集積が図られています。引き続き、地区計画に基づく民間開発の適切な誘導とともに、道路等の都市基盤整備を進め、安全で活力あるまちづくりを進める必要があります。
- また、新川崎・創造のもり地区においては、引き続き、先端科学技術・新産業創出に向けて、ものづくり・研究開発機能の強化を図る必要があります。
- 鹿島田駅周辺地区においては、地域生活拠点として、都市型住宅、商業など都市機能の集積とともに、道路等の都市基盤整備を図り、安全性・利便性の向上に向けたまちづくりを進める必要があります。

■計画期間(2011～2013年度)の取組

- 新川崎地区においては、道路、跨線歩道橋、交通広場及び駐輪場等の都市基盤整備の推進、民間開発の適切な誘導・整備を促進し、良好な市街地形成を進めます。
- 新川崎・創造のもり地区においては、ナノ・マイクロ産学官共同研究開発施設を整備し、市内企業のものづくり技術の高度化や産業イノベーションの創出に向けた取組を推進します。
- 鹿島田駅周辺地区においては、西部地区の市街地再開発事業により、都市型住宅や商業施設の整備とあわせ、都市計画道路や交通広場等の公共施設の整備を進め、安全で魅力あふれる利便性の高い地域生活拠点の形成を推進します。

■主な事業

事業名	これまでの取組と現状	計画期間(2011～2013年度)の具体的な取組	2014年度以降
新川崎地区整備事業 商業・業務機能、都市型住宅機能の導入と研究開発機能の拡充をめざし、民間開発を適切に誘導するとともに、都市基盤整備を進め、拠点形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●道路・公園整備推進 ●鹿島田跨線歩道橋着工 ●民間開発の誘導・整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路、鹿島田跨線歩道橋及び交通広場の整備推進(2012年度整備完成) ●民間開発の誘導・整備促進 	事業推進
新川崎・創造のもり第3期計画推進事業(再掲) 先端科学技術・新産業創造の研究開発拠点の形成と次世代を担う子どもたちの科学技術への夢を育む場の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●基本合意に基づいた4大学コンソーシアムによるKBICでの活動推進 ●第3期地区に係る基本計画等の策定に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> ●計画に基づく第3期地区の施設整備 ●施設における産学連携事業の展開 	事業推進
鹿島田駅周辺地区整備事業 社会経済の変化や地域の意向を踏まえた安全で魅力ある地域生活拠点の形成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●権利変換 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設建築物の整備推進(2011年度着工) ●公共施設の整備推進(2011年度着工) 	事業推進

新川崎・鹿島田駅周辺地区の整備図

